

Advanced Safety Vehicle (先進安全自動車)

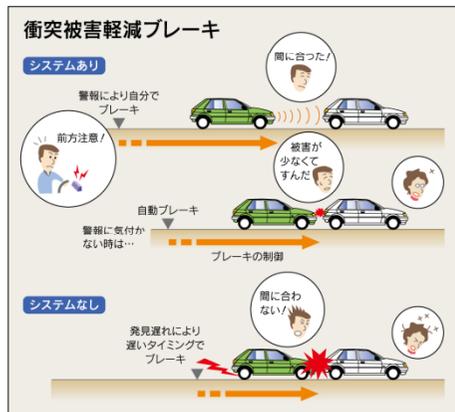


「ASV (先進安全自動車)」は、先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援するシステムを搭載した自動車です。「ASV推進計画」は、ASVに関する技術の開発・実用化・普及を促進するプロジェクトです。

安全運転支援システムの実用化

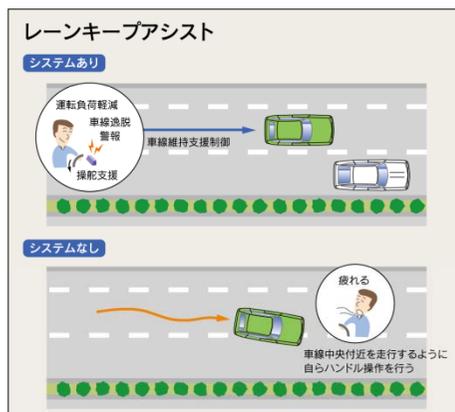
衝突被害軽減ブレーキ

前方を走行する車両に追突する可能性が高いと自動車が判断した場合に、まず警報を出し、それでもドライバーが操作をしない場合に自動的にブレーキが作動します。この装置により、衝突速度を低減し、被害の軽減を図ります。



レーンキープアシスト

高速走行時に自動車が走行車線の中央付近を安全に走行するようにハンドル操作を補助する装置です。この装置により、ドライバーのハンドル操作の負担を軽減することができ、快適に運転することができるようになります。



ドライバー異常時対応システムの検討

鉄道においては運転士（動力車操縦者）が運転できない状態になった場合の装置としてデッドマン装置等が実用化されているが、自動車についてもドライバーが運転困難な状況となった場合の運転支援のあり方を考えておく必要があるとの認識に立ち、基礎的な検討を実施しています。

デッドマン装置

一般に主幹制御器のマスコンハンドルや運転席床面にスイッチを設置し、運転士（動力操縦者）が手足を離すこと等により異常事態を検知し、列車を非常停止させる装置。

(公益財団法人 鉄道総合技術研究所の資料による)



(出展：独立行政法人 交通安全環境研究所)